

# 安心して格安のアドバイスプラン

近年、長年カビ対策で困っているスーパー様より「店舗でカビ被害があることはわかっているものの、費用面や過去の工事の兼ね合いで放置していて、困っている」といった状況で、なんとかできないかとの要望を多く頂いていました。今回カビの専門家の先生方に協力を仰ぎ、従来のカビ工事での問題を克服した新しいカビ対策を開発しました。

これまで費用面で困っていた方、効果面で困っていた方どちらの方へもご提案できる内容となっています。

## 業界最安値！1㎡あたり2500円で除カビ+殺カビ殺菌+防カビの3工程

1㎡あたり2500円と除カビ清掃や塗り替えと同じ費用帯で、高額なカビ対策工事と同じように除カビ・殺カビ・防カビの3工程を行います。カビが発生している箇所はカビが生育しやすい環境が出来上がってしまっているため、清掃や塗り替えでは根本的な解決にはならず逆に被害が悪化してしまうことが危惧されます。カビ対策でお困りの方は是非一度「防カビアドバイスプラン」をご検討ください。

## 見える化、予算化アドバイス

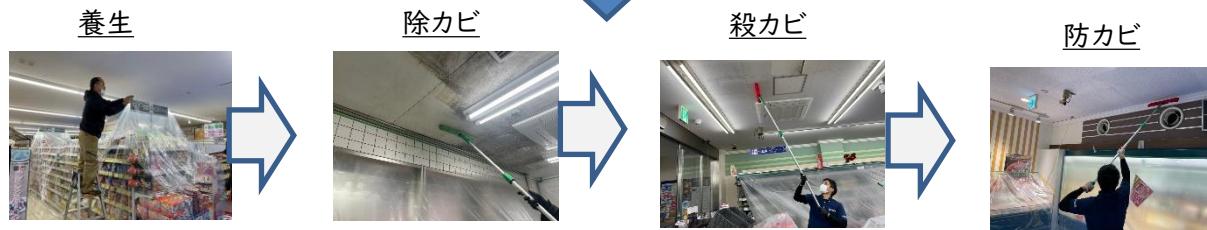
近年、夏場の温度上昇とゲリラ雨により、これまでの食品スーパーの除カビ、防カビ対策では、対策ができず、すぐにまた生えてくる状況が多くなってきています。また、各スーパーの環境により防カビ対策がそれぞれ違ってきています。

1. 構造的に結露が常態化しているケース。
2. 天井裏の配管からの結露で常にカビが発生し続けているケース。
3. 除カビ、殺カビの知識がなくて塗装してカビが内包しているケース。
4. 梅雨時の冷蔵、冷凍小ケースによる天井面のみの結露とカビが発生しているケース。
5. 排気口、通気口の温度差による結露によりカビが発生しているケース

上記のようにカビの発生には、いろいろな環境条件により発生します。カビが発生している場合、早急に除カビ対策が必要ですが、根本原因が分からずカビ対策を行うのは、予算的にも大変無駄があります。節電ECOショップでは、緊急を要するカビの発生している店舗に対し、現調の上、1㎡2000円の除カビ、殺カビ、防カビ対策の3工程による防カビ対策を行います。1年にわたって発生個所の原因究明と、今後の対策をアドバイスします。構造的な問題点がある場合は、本格的な対策になります。

## 工事イメージ

閉店前に夜間責任者に挨拶、閉店後作業開始



※工事時間ですが閉店後～翌5時くらいが目安となります。夜間納品があり、カビ被害箇所にカゴ車を置く必要がある場合は予め納品業者に工事の旨をお伝えください。こちらで一時的に別の場所に移動するか、もしくはバックヤード側に仮置きをして頂くことがございます。工事完了後、もとの場所に戻します。その際多少の誤差はご了承ください。

養生撤去、片付け

夜間責任者への引き渡しもしくは警備会社への施錠依頼撤退

店舗フロア天井のカビでお困りの事業者へ

## 防カビ対策アドバイス

## 食品スーパー・ドラッグストアの方、必見 除カビ、防カビ・抗菌対策 3ステップ

予算重視

## 除カビ、防カビ、抗菌コート 防カビアドバイスプランのご提案

業界初；除カビ、防カビ、抗菌対策のノウハウを伝授  
一般施工価格の2分の1のコスト削減を実現

予算重視の方へ1㎡2500円



除カビ、殺カビ、防カビの3工程;通常1㎡5000円(税別)以上するところ

**50%OFF**、**1㎡2500円**(税別)の特別価格で提供

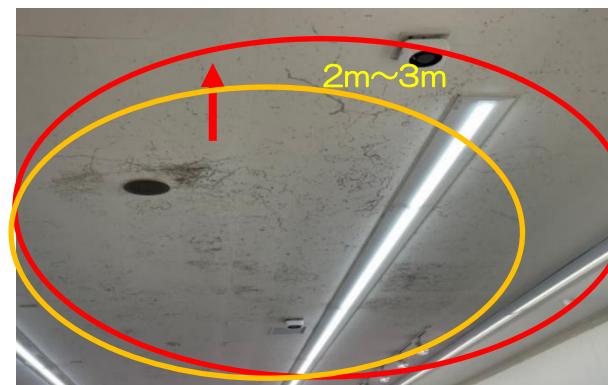
近年、夏場の温度上昇とゲリラ雨により、これまでの食品スーパーの除カビ、防カビ対策では、対策ができず、すぐにまた生えてくる状況が多くなってきています。また、各スーパーの環境により防カビ対策がそれぞれ違ってきています。

1、間違いだらけの除カビ処理 ⇒ 洗剤だけの除カビは厳禁です。

3、除カビ・殺カビ作業のポイント⇒ カビが目視できる箇所のみ作業していませんか？



時間がたつと拭いた後に沿って、カビが再発生、カビを塗り広げていることとなります



特に食品スーパーのオープンスペースは、冷蔵・冷凍ショーケースが多く、温度差による天井(ジプトーン)に結露が発生し、カビや菌の温床となっています。黒ずんでいるところは、コロニー化するまで大きくなっており、その周辺の透明なところもカビ菌がある為、梅雨時期になると急速に増殖して、目視できるようになります。

対策方法) 黒ずんでいる箇所だけでなく、その周辺2~3m範囲も除カビ・殺カビ作業して下さい。左の図の赤い線まで施工範囲

洗剤で洗っても少し経つと、洗剤で塗り広げた部分に沿ってカビが再度発生していませんか？これは、洗剤(界面活性剤)は、カビのえさになる為、かえってカビを増殖させてしまいます。天井のジプトーンに洗剤が浸透し、かえってカビや菌をジプトーンの中に浸み込ませる結果となります。対策方法) 洗剤は絶対使わず、必ず除カビ剤をお使い下さい。

4、防カビ塗装のポイント⇒ 殺カビ処理なしでの塗装は厳禁。

除カビ処理だけでその上の塗装の塗り替えをして、中からカビが再発生して問題となっているケースも多数あります。これは、根の部分まで殺カビしていないが為に、時間の経過とともにカビが増殖して表面に出てくるケースです。表面に出てきたカビは除カビできても、塗装の中に入り込んでいるカビは除去できない為、塗装を剥がして殺カビしてから再塗装となる為、多額のコストがかかります。



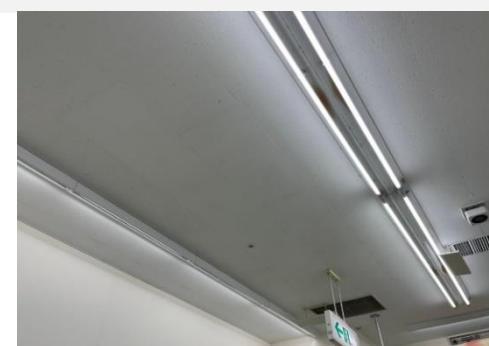
2、間違いだらけの除カビ処理 ⇒ 除カビだけでは不十分、殺菌、殺カビが一番重要。

除カビ剤は、一般的に次亜塩素酸が基本で、漂白がメインの目的の為、全体の50%近くの除カビ効果しかありません。ジプトーンの中に根をはっている残り50%近くのカビは駆除できていない為、この除カビ作業だけでなく、根から殺菌、殺カビする作業が別途必要になります。一般的な施工では、この除カビ作業のみの場合が多く、根まで浸透して殺菌・殺カビをしていない為、2~3か月でまた表面にカビが増殖しているケースが問題となっています。殺カビと防カビ対策で、カビの再生を防ぐことが特に重要ですが、殺カビを知らない施工業者がほとんどです。特に梅雨時期は、結露がジプトーンの中に浸み込んでおり、カビも奥まで根をはった状態になっています。このため殺カビ剤がジプトーン奥まで入り込みづらく、完全に殺カビができていない場合、またカビが生えてくることとなります。

対策方法) 除カビ作業の次に、根の部分まで必ず、殺菌、殺カビ作業をして下さい。

5、防カビコートのポイント⇒ 結露しても長期密着して防カビ機能を発揮する透明防カビコート。

最後の防カビコートのポイントは、塗り替えなしで簡単に安くするためには、透明なコート剤が最適です。但し結露するということは、水に塗れても取れず、長期に防カビ効果を持続できることが重要なポイントになります。弊社の防カビコート剤、「MKクリーンコート」は、無機透明タイプの帯電防止防汚機能付きの防カビコート剤で、外装材で10年以上の実績があり、雨が降っても長期に密着してとれない密着バインダーに、業界最高の防カビ剤=PBMを入れたコート剤です。



根の部分の殺菌、殺カビをしないとすぐにカビが生えてきます。(早いと1か月以内)